

特集

平成26年度市民活動支援公募事業が決まりました。

今年採択された事業の特徴は、①事業数が昨年の倍以上になったこと、②分野が多彩であること、③主催者の年齢層が幅広く、また若い世代（20～30代）が増えたこと、④立ち上げ団体コースが多いこと、⑤市民活動支援センター「あすぴあ」や「NPO 法人マイスタイル@こだいら」からの紹介やサポートがあって応募した団体が多かったこと、などが挙げられます。これは、市民活動を活発にしようという横の連携や情報共有の成果と言えるでしょう。それぞれの詳しい情報は、今後イベント情報欄で随時ご紹介します。（田原）

	事業名	団体	事業の概要	実施時期
1	発達支援シンポジウム「ちがっているところを生かそうよ！」	NPO 法人こども未来ラボ	発達障がいを持つ子ども達とその親達の生きにくさを広く知ってもらい、理解を深め、障がいに関わらず誰もが生きやすい環境をつくる機会として、グループワークを交えた参加型のシンポジウムを開催します。	12月6日 福祉会館
2	市民フォーラム「地域を安心・元気にするネットワークづくり」	NPO 法人ふれあいアカデミー	地域のネットワークづくりは社会的にも関心が高く、大切な課題です。そこで、市民の地域コミュニティ参加への必要性和、安全で元気なまちづくりのヒントを見つけ、モチベーションを喚起するフォーラムを開催します。	2015年 3月14日 中央公民館
3	地域コミュニティの啓発事業	コミュニティ・サロン「アットホームはぎ」	元気高齢者の力と経験を活かし、誰もが安全安心で支えあって過ごせる地域作りを目指して昨年度オープンした地域の交流拠点です。ミニ学習会やバザーなど、地域に開かれた事業を開催します。	開所日は、 毎月7の付く日
4	やすらぎコンサート	Sana（さ～な）	病気や障がいのためにコンサートに行くことが難しい方のために、病院や施設に出向きコンサートを開催します。ピアノやクラリネット、声楽などの生の演奏に触れ、その音色に心癒やすひとときと元気を届ける事業です。	9月8日 （介護老人保健施設）
5	教養・文化講演会	学び舎江戸東京ユネスコクラブ	社会を取り巻くグローバルな環境は一段と厳しく、困難な問題をたくさん抱えている中、将来に対して何を考え、何ができるのか、各分野で先駆的に活躍されている方々を講師に、皆で学ぶ場をつくります。	9月7日& 2015年2月 22日 中央公民館
6	お茶の間セッション	こだいらコミュニティ・ミュージック	若者世代の感性を取り入れた音楽とアートのプログラムに、大学や学生が主体的に関わり、NPO フェスタ、広場や公園等で「新こだいら音頭」の楽曲披露、廃材等を活用したペイントアートなど、参加型のイベントを開催します。	10月26日 NPO フェスタ、11月 1&2日 学園坂商店街
7	こだはぐカフェ&講演会	小平はぐくみプロジェクト	産前産後の女性を対象に心と体をケアして元気に笑顔になる講座や、父親の育児参加につながるような楽しい企画を通して、子育て世代の情報交換や出会いの場を提供します。	9月14日 ルネこだいら
8	鉄道模型運転会と団体活動 PR 事業	小平 N ゲージレイアウトサークル	大人から子どもまでどなたでも楽しめる地域の多世代交流の場として、公民館を中心に体験型の鉄道模型運転会を開催しています。この活動を広く PR することで、子どもの夢を膨らませ、人との絆を深めていく事業です。	第1土曜は 小川公民館 第3土曜は 中央公民館 ほか
9	子育てママの応援プログラム「I'm OK な母になろう！」	Poco-A-Poco（ポコアポコ）	障がい児を育てている親が、「子どもにハンディキャップがあってもなくても、生まれ育っていることは素敵なこと」と感じて、自分を責めず前向きに子育てが出来るような社会を願って講演会や学習会を開催します。	11月22日 中央公民館
10	精神障がいを考える講演と映画上映会	クラブハウスはばたき賛助会	精神疾患の方やその周囲の方々を描いたイタリア映画の上映会と、病気に苦しむリハビリしながら社会復帰を目指す当事者や専門家の話を共有する機会をつくり、地域での相互理解を深め、支援の方法を模索します。	2015年 1月～2月 実施予定
11	パパママのためのミニ講座つきコミュニケーションカフェ	きらきらカフェ	現役の子育て世代が企画・運営する、親子で安心して過ごすことのできるコミュニケーションカフェを開催します。子育て世代に役立つミニ講座や体験ブースを併設し、リラックスして楽しみを共にする機会をつくります。	10月29日 中央公民館